

5分診断シート

続ける・縮める・止める前に、まず立ち往生の深さを見る。

この診断は、失敗の原因や責任者を探すものではありません。いまの案件がどこで重くなっているのかを、目的・前提・判断者・制約などに分けて見るための補助シートです。

一時的な違和感ではなく、最近の会議・作業・調整の中で、繰り返し起きているものにチェックします。完全に一致していなくても、「近い」と感じるものがあればチェックしてください。

チェック項目

R01 | 目的のずれ

何のために続けているのかが見えにくい

R02 | 成果のずれ

何が変われば前進なのかが分からない

R03 | 前提のずれ

古い計画のまま進んでいる

R04 | 制約の見落とし

人・時間・費用・制度・現場条件が足りない

R05 | スコープの広がり

やるが増え、どこから再開するか見えない

R06 | 優先順位の混乱

何から手を付けるか決められない

R07 | ボトルネックの不明確さ

承認、情報、判断、担当者が止めている

R08 | 依存関係の複雑化

承認待ち、情報待ちで止まっている

R09 | 関係者の混線

誰に何を確認するか見えない

R10 | 意思決定権限の曖昧さ

誰が何を決めるのか曖昧になっている

当てはまった数： _____ 個

診断結果

チェック数をもとに、今の状態を確認します。

0～2個

通常の詰まりに近い状態

まだ、次の一手を整理すれば動き出せる可能性があります。まずIdea to Actionで、会議後の一手や役割、工程を整理する方が合うかもしれません。

次に見る候補

- Idea to Action Vol.01
- Idea to Action 5巻セット

3～4個

再起動前の整理段階

一部のずれが、案件全体を重くし始めている可能性があります。会議や資料を増やす前に、どこがずれているのかを確認します。

次に見る候補

- Project Reboot Vol.01
- チェックしたR項目から読む

5個以上

Project Rebootで構造を見直す段階

チェックが半数以上ある場合、単なる次アクション不足ではなく、目的・前提・制約・判断者・関係者などが重なってずれている可能性があります。まず、何を残し、何を縮め、何を後回しにするかを整理します。

次に見る候補

- Project Reboot 2巻セット
- Vol.01 | 立ち往生の構造を見る
- Vol.02 | 小さく再起動する

どこがずれているかを見る

チェックした項目の中から、いま一番気になるものを1つ選びます。

いま一番近い項目

- | | |
|-------------------------------------|---------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> R01 目的 | <input type="checkbox"/> R06 優先順位 |
| <input type="checkbox"/> R02 成果 | <input type="checkbox"/> R07 ボトルネック |
| <input type="checkbox"/> R03 前提 | <input type="checkbox"/> R08 依存関係 |
| <input type="checkbox"/> R04 制約 | <input type="checkbox"/> R09 関係者 |
| <input type="checkbox"/> R05 スコープ | <input type="checkbox"/> R10 意思決定権限 |

いま起きている状態

評価せず、そのまま書きます。

ずれていそうなこと

どこにずれがありそうかを書きます。

避けたい進め方

このまま進めると悪化しそうな対応を書きます。

例：会議を増やす／資料だけ増やす／全部残す

次に確認すること

判断前に、まず確認することを1つ書きます。

次に見る教材

本編では、「読むページ」と「書くページ」を使い、構造のずれ、避けたい進め方、小さな再起動条件を整理します。

5個以上 **Project Reboot 2巻セット**

3〜4個 **Project Reboot Vol.01**

0〜2個 **Idea to Action**